



志 感動 笑顔

じぶん・なかま よむ・かく きく・はなす

たてやま

楯岡小学校だより No.13
令和8年3月26日(木)
令和7年度最終号
【文責:校長 井上敏春】

楯岡小HPは
こちらから
どうぞ



3/20~二十四節気「春分(しゅんぶん)」昼夜の長さがほぼ同じになり、昼がだんだん長くなっていく

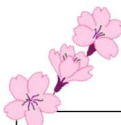
令和7年度 お世話になり、ありがとうございました!

令和8年度 また、どうぞよろしくお願ひします!!



おかげをもちまして、令和7年度村山市立楯岡小学校創立152年目の教育課程における教育活動を全て終えることができました。これもひとえに、児童一人一人が自らの『感動』をよりよく表すために「よむ」「かく」活動を通して身に付けた“コメント力”を生かしながら、『笑顔』で「きく」「はなす」「コミュニケーション力」を鍛え、最終的に実現すべき自らの『志』をしっかりと持って「じぶん」と「なかま」を大事にしながら生活・学習に懸命に取り組む“コミュニティ形成力”を磨いてきたこと、そしてそれを支え、応援し続けてくださった保護者・地域の皆様始め関係各位のおかげです。令和7年度教職員一同、心より感謝申し上げます。

さて、この度の教職員人事異動により、下表のとおり令和7年度末退職・転出者及び令和8年度転入者がありましたのでお知らせします。児童・保護者の皆様からは、メッセージフォームにてたくさんの心温まるお言葉も頂戴しました。誠にありがとうございました。



令和7年度末 異動教職員			令和8年度 転入教職員			
職名等	氏名	在職	退職・新任地・職名等	職名等	氏名	前任地・職名等
校長			退職	校長		村山市教育委員会 教育指導室長
教諭			退職	教諭		東根市立東根中部小学校 教諭
教諭			退職	教諭		東根市立長瀬小学校 教諭
教諭			村山市教育委員会学校教育課 指導主事	教諭		尾花沢市立尾花沢小学校 教諭
教諭			東根市立東根小学校 教諭	教諭		新庄市立本合海小学校 教諭
教諭			東根市立東根小学校 教諭	教諭		村山市立大久保小学校 教諭
教諭			尾花沢市立福原小学校 教諭	教諭		新規採用
教諭			大石田町立大石田小学校 教諭	教諭(再短)		大石田町立大石田北小学校 教諭(再短)
教諭(再)			東根市立東根小学校 教諭(再)	講師		東根市立高崎小学校 講師
教諭(再短)			退職	事務主査		村山市立西郷小学校 事務主査
講師			東根市立東根小学校 教諭(新採)	運転・用務業務員		村山市立葉山中学校 運転・用務業務員
事務主査			東根市立東根中部小学校 事務総括	特支教育補助員		村山市立楯岡中学校 特支教育補助員
運転・用務業務員			村山市立西郷小学校 学校用務業務員	学習サポーター		西郷認定こども園 保育補助員
特支教育補助員			村山市立葉山中学校 特支教育補助員	学習サポーター		西郷認定こども園 保育補助員
学習サポーター			村山市教育委員会生涯学習課 事務補助員			

皆様ご存じのとおり、村山市内では令和10年度に西部地区の4つの小学校と1つの中学校が1つの義務教育学校に、令和11年度には東部地区の楯岡小学校を含む3つの小学校が1つの新生小学校に統合して楯岡中学校との連携をより充実させた小・中一貫校のスタイルへと生まれ変わります。

それに伴い、令和8年度より市内全ての小・中学校に「学校運営協議会」を設置した『コミュニティ・スクール』＝“地域と学校がより一体となって子供たちを育てる『地域とともにある学校』”にバージョンアップします。その導入率(令和7年5月時点)は、全国平均で64.9%、山形県では62.2%となっており、村山市もその仲間入りをするようになります。学校や地域で具体的にどのような取組をするのかについて、**右の二次元コード**から村山市ホームページ内『むらやま統合タイムズ』等をご参照ください。また新年度に入り、PTA 総会や学校だより等を通して、保護者・地域の皆様にご理解とご協力をお願いすることになります。楯岡小学校創立153年目を共に創ってまいります。どうぞよろしくお願ひします。



村山市「統合タイムズ」第4号

児童会くらしづくり委員会主催「交通安全感謝の会」 私たちを見守ってください、ありがとうございます！

2月24日（火）に児童会「くらしづくり委員会（6年菅井華楓委員長）」が主催して『交通安全感謝の会』を行いました。今年1年間、子供たちの交通安全を見守ってくださった地域の方々をお招きして、感謝の気持ちを表すと共に、子供たち自身が日頃の登下校を始め、放課後や休日等における歩行や自転車乗り等での安全について、改めて考える機会とするのが大きな目的です。本来ならば、PTAや子ども会育成会始めたくさんの保護者の皆様にも見守っていただいております、皆様にご案内を差し上げるべきところですが、今回は、代表して以下の皆様にご案内を差し上げて、ご来校いただいたところです。

- 愛宕神社・コセキさん前での立哨指導…交通指導員 高橋 啓 様、大地正志 様
- スクールバス運転手…楯岡交通 中里 和博 様、本校 森村益雄 運転・用務業務員
- リンクむらやま前での立哨指導…子ども会育成会会長 鈴木 智 様

お越しいただいた皆様からは、日頃、子供たちを見守り続けてくださったからこそその命の重みと大切さ、そして愛情あふれる思いのつまった言葉をたくさんいただきました。

- 「信号だけでなく、最後は自分の目で安全を確認してほしい。」
- 「元気なあいさつで一日を始めて、マナーを守る大人になってほしい。」
- 「登校と下校では心の緩みが違う。最後までルールを守って、命を守り抜こう。」

皆さんのメッセージに共通していたのは「自分の命は、自分で守ること」でした。守ってくださる方がいらっしゃるのが当たり前ではなく、とってもらいたいことなのです。当たり前なのは、「自分の命に対する責任は、自分が負うべきこと」だということでした。このことを改めて確認し、一人一人の心に留める機会となりました。



3月2日（月）からは、6年生の通学班長から5年生以下の通学班長へバトンタッチ。先頭を歩きながらも、後ろを振り返りながら新班長を務める姿、後ろから見守る6年生の前班長の姿…どの班もすてきな世代交代の様子がありました。

令和7年度修了式・お別れ会 “会うは別れの始まり…新しい出会いのため”

全ての児童と教職員が一堂に会する最終日3月17日（火）に、令和7年度を締めくくる修了式・お別れ会を行いました。まず初めに、本年度の市長賞・学校賞始め多読賞などたくさんの皆さんに賞状の伝達を行いました。その後に修了式を行い、各学年の代表に修了証を伝達し、1～5年生全員の進級、6年生全員の進学と、今年一年間の一人一人のがんばりを全員で称え合いました。

お別れ会は、6年生主催で、体育館では学年担任外の教職員一人一人に子供たちから温かいメッセージをいただきました。各担任には、教室に戻ってからメッセージをいただきました。



1年間のがんばりを称え合い、別れと出会いに感謝し合う、すてきな時間を共有できました…

令和7年度 最高のリーダー6年生86名の旅立ち！ 自分の「志」、思い描く「人生」の実現を自分の力で切り拓く！！



3月18日(水)原田和浩副市長様、楯岡・大倉地域の市議会議員の皆様始め多数のご来賓の皆様のご臨席を賜り、保護者の皆様と在校生代表の4・5年生、そして教職員が参加して、卒業生86名をお祝いする卒業証書授与式を開催しました。コロナ禍前の当たり前の規模で開催できたのは6年振りとなります。

今年の卒業生は、令和2年度入学児童。つまり令和2年3月に始まった突然のパンデミック、コロナ禍へと突入し、世界中で厳戒態勢が敷かれる中、入学児童と保護者、そして学校だけで入学式を行った前代未聞の学年になります。4月の登校は、この日のたった1日だけ。5月半ばからはやっと分散登校が始まり、ようやく小学校生活を始めた学年です。それから2年生、3年生、そして4年生の5月まで、長い制限下での生活が続いたのです。卒業式も同様でしたから、令和6年度の在校生代表として、5年生になって初めて参加した学年でもあります。このように今年の卒業生たちは常に「大人にとっての“想定外”」の6年間を過ごした訳です。それでも、いつも元気で笑顔の絶えない子供たちでした。それでも子供たちは、いつも明るく元気で、周囲に勇気を与え続けた学年でした。

式辞では、まず初めに「AI」が「人間」を超えるとされていた「2045年問題」が、20年も早く到来していることに触れ、次の3点を話しました。

- 「AI」は「人間」が積み重ねてきた「失敗」と、苦しみながら繰り返してきた「努力」と「道筋」を学習して、何にでも当てはまる、一つの「正解」や「成功」を導き出していること
- でも人間は、何度も「失敗して」、何度も「くじけて」、それでも泥臭く「あきらめない」で、でも時には潔く「あきらめて」そのバランスをとりながら「挑戦」を続けていること
- 最後に、自分自身の力で勝ち取った、たった一つの自分だけの「正解」や「成功」にたどり着く大切さであり、「AI」にはできない、人間が、人間らしく生きている「意味」であること



そして後半部分では、シンガーソングライター「さだまさし」さんが1987年に作詞・作曲した『風に立つライオン』を取り上げました。ある青年医師の手紙を基につくられた曲であることを紹介し、歌詞の中の3つのフレーズを取り上げ、参考画像と共に聴きました。

- “現在(いま)を生きることに思い上がりたくない♪”
- “よどみない生命(いのち)を生きたい♪”
- “僕は風に向かって立つライオンでありたい♪”

そして結びに、卒業生86名の皆さん、その一人一人に訪れる「どんな困難」も、結局は「わくわく、楽しい“想定外”の未来世界」であること。自分の「志」、自分が思い描く「人生」を自分の力で切り拓き、たくましく生き続ける人であり続けてほしい。一人一人の旅立ちに、心からのエールを送りました。

卒業生86名の皆さん、卒業おめでとう！ますますの活躍を期待しています！！



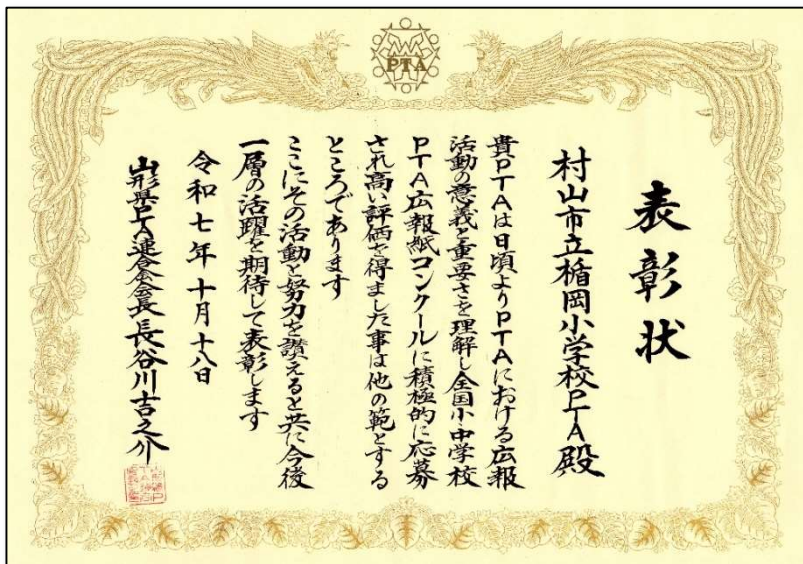
5・4年生実行委員が「門出式」を企画、実行しました。卒業生からはサプライズでエールのお返しもありました。また、今年もJAさんに「啓翁桜」を提供いただきました。ありがとうございました。5年生がラッピングし、卒業生にプレゼントすることができました。

大きな賞を、二つもいただきました！ 誠におめでとうございます！！

これまでの本校PTA・保護者の諸先輩方から続く、熱心なPTA活動及び保護者と学校の密な連携の取組が認められ、令和5年度PTA活動の全国表彰を頂いております。

さらに今年度は、PTA関係でとてもうれしい2つの表彰がありました。

一つ目は、PTAだより「たてやま」が、山形県表彰を受け、全国奨励賞を受賞しました。これまでPTA広報部の皆様を中心に、原稿執筆や部員の皆様の紙面構成への工夫と努力など、丁寧に編集作業を行い、発行してくださった賜物と思います。昨年10月18日（土）に行われた山形県PTA研修大会（新庄市）にて、金森PTA会長さんが代表して表彰状を頂いてきました。誠におめでとうございます。



そして二つ目は、PTA家庭サポート部が中心となり取り組んできた「弁当の日」の取組に関わって、「弁当の日」おいしい記憶のエピソード”を募集したところ、多くの児童と保護者の皆様に取り組んでいただき、「小学生の部」で全国1校の「学校賞」を受賞しました。また、「個人の部」では特別賞の一つ「日清オイリオ賞・5年 今田優実さん」が受賞しました。3月20日（金）に東京港区にある共同通信社にて行われた表彰式に、学校代表で小幡教諭、5年生今田優実さんが招待され、賞を頂いてきました。今年度は全国から小・中学校合わせて2,503点、約80校の出品があった中での受賞です。本校として初めての取組での快挙です。誠におめでとうございます。

また次年度も「弁当の日」の取組を継続したいとの声も伺っております。子供たち・ご家庭での継続的な取組を期待しています。

なお、今田優実さんの取組内容など、「弁当の日のおいしい記憶のエピソード」のホームページ(右の二次元コード参照)にてぜひご覧ください。



みんながキラリ



村山市立楯岡小学校【みんなの合言葉】
(令和8年3月 児童会制定)

～声がピンッ！ 心ポカポカ～

令和7年度児童会で全校の意見を取り入れて、以下の『みんなの合言葉』を制定しました。アリーナ(大体育館)に大看板にして掲示しています。令和8年度ますます活発な児童会活動になることでしょう。大いに期待しています！

みんなの心を一つに集めて！